

ウェブ画面における読みやすい文字表現の研究

李, 明姫

<https://doi.org/10.15017/1398255>

出版情報：九州芸術工科大学，2001，博士（芸術工学），課程博士
バージョン：
権利関係：

第4章

新聞社サイトの記事の表現方法

1. 調査の目的及び内容

1.1 調査の目的

以上の予備調査から文字の表示方法によって読みやすさに変化が生じることが分かった。次に、表示された文字や行間などの実の設定状況を把握するために、読みやすく理解しやすくまた、更新が簡便であることが要求される新聞社サイトの日本語ページの記事部分(2000年9月15日)を分析する。

これまでの数年間に、印刷媒体デザイナーらがモニター上のウェブページデザイン分野にも手を広げていった。そのため印刷分野で使用されたデザイン技術がウェブデザインにも適用された。従って、印刷媒体とモニター画面上のウェブページの企業イメージは統一性を持ち、ウェブページでも企業固有のイメージを保持することができた。しかし、最近の調査では、印刷媒体のデザイン技術がウェブページのデザインに適していないと指摘されている。

現在の新聞社サイトの記事を見ると読みやすいページもあればそうではないページもある。これらの表示方法を分析することで、現状を把握し、ウェブページデザインにおける理解しやすく読みやすい文字表示のあり方を導く。

1.2 調査の内容

調査にあたって、次の4社のトップニュースの記事を分析することにした。

1. 毎日新聞[Mainichi INTERACTIVE] (<http://www.mainichi.co.jp>)、
2. 朝日新聞[asahi.com] (<http://www.asahi.com>)、
3. 読売新聞[Yomiuri On-Line] (<http://www.yomiuri.co.jp>)、
4. 日本経済新聞[NIKKEI NET] (<http://www.nikkei.co.jp>)

各ページのソースをダウンロードしトップニュースの「全文」記事のページを例として選び、この4社は、検索ウェブサイトから検索された新聞社のサイトのうち全国向けのサイトから選択した。

コンピュータとブラウザの環境は、2000年9月現在利用者がもっと多いと思われる「WindowsのInternet Explorer 4」に合わせ、フォントの設定はデフォルトフォントである「MS Pゴシック」に、サイズは「中」にしたものを各々分析する。

2. 調査結果

2.1 各社の記事の状況

1) 毎日新聞

**五輪・開会式:
20世紀最後の聖火燃え上がる シドニー**

【シドニー15日丸山雅也】二つの大戦と東西冷戦、その後
に頻発した民族紛争などで、今世紀の五輪には世界が一つ
に集えない時代があった。その締めくりとなる第27回夏季
オリンピック大会が15日午後7時(日本時間同5時)、オー
ストラリアのシドニーで開幕した。200の国・地域から約1
万1000人の選手と約5000人の役員が参加する史上最
大規模の大会。五輪スタジアムでの開会式では、分断から
55年を経た韓国と朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)の

図-1) Mainichi INTERACTIVE(<http://www.mainichi.co.jp>)
2000.9.15 Internet Explorer 4.5 in Windows98

HTML

```
<table border=0 cellspacing=0 cellpadding=0 width=348><tr><td bgcolor=#FFFFFF width=348  
valign=top>  
<!-- #BeginEditable "article" -->  
<div align="right"><font size=+1 class="text"><b>2000年9月15日</b></font></div><br>  
<font size=+1 class=midashismall>  
<B>五輪・開会式:<BR>20世紀最後の聖火燃え上がる シドニー</B></font><BR><BR><font  
class="text">【シドニー15日丸山雅也】二つの大戦と東西冷戦、・・・・・・人類は失って  
もいいのか」と。<P></font>  
<!-- #EndEditable -->  
</td></tr></table>
```

CSS

```
.text {FONT-FAMILY: "Osaka"; FONT-SIZE: 14px; LINE-HEIGHT: 20px; TEXT-DECORATION:  
none}  
.midashismall {COLOR: #000000; FONT-FAMILY: "Osaka"; FONT-SIZE: 18px; LETTER-SPACING:  
-1px; LINE-HEIGHT: 22px; TEXT-DECORATION: none}
```

毎日新聞[Mainichi INTERACTIVE](図-1)は全体画面の構成要素が少なく、バナー広告以外は色を少なくしてテキストを集中して読めるようにしている。また、テーブルタグを使って2段組みにし、「記事全文」と「記事のINDEX」に分けている。上のソースのようにスタイルシート(Cascading StyleSheet:CSS)を外部から読み込む方法を用い、タイトルや記事のテキストの環境を設定している。

本文のバックグラウンドは白<#FFFFFF>で、文字は黒<#000000>、フォントのサイズは14px、行間は20pxに設定して、フォントファミリーは「OSAKA」に設定している。また、行の長さ(コラム)は420pxで、26字を表示させ、フォントのサイズを14pxに固定しているため、他のサイトよりやや小さく見える。

見出しサイズは18px、字間は-1px、行間は22px、フォントファミリーは「OSAKA」である。またその上ボールドタグをかけて強調している。

2) 朝日新聞

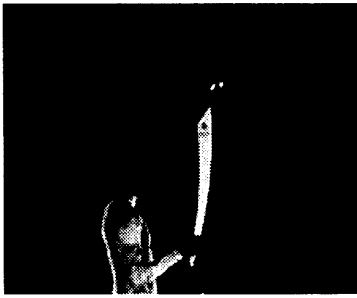
聖火リレーの最終走者・アボリジニーのフリーマン選手	
<p>聖火リレーの「最終走者」は、陸上代表のキャシー・フリーマン選手(27)だった。金メダル候補として地元の大きな期待がかかる女子400メートルは、わずか1週間後。寒さや拘束時間の長さから開会式の参加を控える選手もいるなか、意表を突いた現役スター選手の登場に、スタンドの大観衆はどよめいた。</p>	

図-2) asahi.com(<http://www.asahi.com>)
2000.9.15 Internet Explorer 4.5 in Windows98


```
HTML
<td height="26" colspan="5"><font size="4">
<!-- Start of Headline -->
<b> 聖火リレーの最終走者・アボリジニーのフリーマン選手</b>
<!-- End of Headline -->
</font></td></tr>
<tr><td height="16" colspan="5" valign="top">
<hr noshade></td></tr><tr><td width="356" valign="top">
<!-- Start of kiji -->
  聖火リレーの「最終走者」は、陸上代表・・・がかかっている <p>(01:39)<!-- End
of kiji --></td>
```

朝日新聞[asahi.com](図-2)は、3段組みで、右の2段を合わせた上の部分に広告とタイトルが配置されており、左右にメインメニューと、記事と関係のある写真が配置されている。(図-2)のように記事の行の長さは4社中で最も短く、356pxに20字を表示し、文字に対しては何も設定せず、デフォルトやユーザの設定に任せている。行の長さが短くて読みやすいが、行間はもちろんテキストの周りの空間がとれてない。

本文のバックグラウンドの色は白で文字は黒、フォントはデフォルトフォントである。タイトルはサイズをで、ボールドにして本文と区別している。

3) 読売新聞

シドニー五輪開幕、聖火ともる



カラフルなマントをまとい入場行進する日本選手団

【シドニー15日=読売取材団】二十一世紀への懸け橋となる第二十七回夏季オリンピック・シドニー大会が十五日、開幕した。オーストラリアでの開催は一九五六年のメルボルン大会以来四十四年ぶり二度目。午後七時(日本時間午後五時)からシドニー市郊外の五輪スタジアムで行われた開会式では、五輪史上初の韓国と北朝鮮による南北の合同入場行進で、「平和の祭典」が強く印象づけられた。

今大会には個人参加資格の東ティモールを含む二百の国・地域が参加、選手約一万一千五百人、役員を含めた選手団約一万六千六百人と史上最大規模に膨れ上がった。商業五輪を推進した国際オリンピック委員会(IOC)のサマ

図-3) Yomiuri On-Line (<http://www.yomiuri.co.jp>)

2000.9.15 Internet Exploror 4.5 in Windows98

HTML<CSS>

```
<STYLE TYPE="text/css">
.kiji | line-height: 18px; text-decoration:none|
.snews | text-decoration:none|
.text | text-decoration:none|
.text1216 | font-size:12px; line-height: 16px; text-decoration:none|
.text1620 | font-size:16px; line-height: 20px; text-decoration:none|
</STYLE>

<table cellspacing="2" cellpadding="5" border="0"><tr><td><font size="+2"
class="midashi"><b><!-- midashi start -->シドニー五輪開幕、聖火ともる<!-- midashi
end --></b></font><br></td></tr></table>
</td></tr><tr><td bgcolor="#ccccce">
<table cellspacing="2" cellpadding="10" border="0" width="100%"><tr><td
bgcolor="#ffffff">
<!-- photo start -->
<table width="180" align="left" cellpadding="3"><tr><td><br><br clear=all><font class="update">カラフルなマントをま
とい入場行進する日本選手団</font></td></tr></table>
<!-- photo end -->
<!-- honbun start -->
【シドニー15日＝読売取材団】二十一世紀への懸け橋．．．．．新たな一章をつづり始
めた。(井原 敦) <p><p><p>(9月15日21:20)<br>
<!-- honbun end -->
<center><br></center></
td></tr></table>
```

読売新聞[Yomiuri On-Line](図-3)は、記事の周りにメインメニューと副メニューなどが数多く書込まれており、ブラウザの下の部分には広告が配置されている。

記事はメインメニューとの距離をあけ、余白を確保している。HTMLソースから見られるように、スタイルタイプは細かく指定しているものの、定義したスタイルシートを使用していないため実際の記事には反映されずに、425pxに26字を表示し、文字の色が灰色<body text="#333333">になっていて読みにくい。見出しの部分はで特に大きく、ボールドをかけバックグラウンドの色を紫色<"#ccccce">にしている。本文は周りの数多いメニューバーに邪魔されないようアウトラインで保護されていて、右に広い余白が確保されている。

主要ニュース

シドニー五輪開幕、200カ国・地域参加

【シドニー15日＝五輪取材班】第27回夏季オリンピック・シドニー大会は15日、シドニーの五輪スタジアムで開会式が行われ、20世紀の最後を飾るスポーツ最大の祭典が幕を開けた。韓国と朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)の合同行進が初めて実現。1956年のメルボルン大会以来、南半球で2度目の開催となる今大会は、歴史的なミ




図-4) NIKKEI NET (<http://www.nikkei.co.jp>)
2000.9.15 Internet Exploror 4.5 in Windows98

```
<TABLE WIDTH="100%" BORDER="0" CELLSPACING="0" CELLPADDING="5">
<TR><TD>
<FONT SIZE="4"><B>シドニー五輪開幕、200カ国・地域参加</B></FONT><br>
<table border="0" width="170" align="right"><tr><td align="center"></td></tr><tr><td valign="top"><small>入場する日本選手団(15日
夜、五輪公園・メインスタジアム)</small></td></tr></table> 【シドニー15日＝五輪取材
班】第27回夏季オリンピック・・・先頭に行進した。<p><P><b>関連リンク</b><br>
(<a href='http://www.nikkei.co.jp/topic5/sydney/' target='_blank'>「シドニー五輪」
</a>参照) </P>
</TD></TR></TABLE>
```

4) 日本経済新聞

日本経済新聞[NIKKEI NET](図-4)の画面は、4社の中で最も多くの要素で構成されているページである。ページ内を3段組みにして、メインメニューと記事のリストが配置されている。

記事は、420pxに24字を表示している。文字には何も設定せず、デフォルトフォントやユーザーの設定に従っている。

タイトルは、サイズにボールドして強調してはいるが、記事のタイトルと記事本文との距離が近く、同じ空間に配置されてしまい、ニュース内容のタイトルより「主要ニュース」というメニュータイトルが目立つ。また画面を構成する要素も多い。

表-3) 新聞社ウェブサイトの文字表現分析

	Mainichi	Asahi	Yomiuri	NIKKEI
Line-width	420px : 26 字	356px : 20 字	425px : 26 字	420px : 24 字
Line-height	20px	なし (default)	18px	なし (default)
Font-size	14px	なし (default)	なし (default)	なし (default)
Font-color	#000000	#000000	#333333	#000000
BG-color	#ffffff	#ffffff	#ffffff	#ffffff
Charset	なし	x-sjis	shift_jis	shift_jis

コンピュータ : Windows98、モニター : 17inch、解像度 : 1024x768、
 ブラウザ : Internet Explorer 4.5、Font : MS Pゴシック、文字サイズ : 中、2000年5月9日基準

2.2 読みやすい要素に関する分析

以上のように、各サイトなりに文字の読みやすさに関しての配慮がうかがわれ、スタイルシートを用いて細かい設定がされているものもある。

しかし、毎日新聞社サイトでは、フォントがウィンドウズでは使用されていない「OSAKA」となっているため、ウィンドウズではユーザーの設定フォントかデフォルトフォントになってしまう。このように特定のフォントを指定する時には、マッキントッシュとウィンドウズの両方を考慮するべきである。

また、読売新聞社サイトでは、埋め込みスタイルシートをHTMLファイルの内にまとめて設定する方法を採用している。しかし、スタイルシートは細かく設定されているにもかかわらず、記事には適用されていない。

文字の大きさは、毎日新聞社サイトが14pxに設定して、その以外の新聞社のサイトでは設定を行わずブラウザのデフォルトサイズに見える。

行間の設定は、毎日新聞社のサイトが文字サイズ14pxに対して20pxにしている。読売新聞社サイトの18pxにしているのは記事に反映されていない。他の朝日新聞社サイトや日本経済新聞サイトには行間が設定されておらず行間が開いていないため読みづらくなっている。

行の長さは、朝日新聞サイトが一番短く356pxに20字位表示され、420pxに26字位表示される毎日新聞社サイトと、425pxに26字位表示される読売新聞社サイトとの差があった。

文字の背景色は4社すべて白く、文字の色は黒になっている。しかし読売新聞社サイトだけが濃いグレー(#333333)になっている。

4. 考察

インターネットは、地域の区分のない、世界の人々の情報交流の場である。英語が基本になって設計されたコンピュータシステムやブラウザではあるが、情報の交流は英語に限るものではない。世界各国の様々な言語が使用され、日本人には当然日本語の情報が活用される。

日本語の表記の場合は、漢字や仮名、英文など形態的にまったく異なる文字が混在しているので、字と字のバランスがとりにくい。現在多くのユーザーがモニター上で読んでいる文字の形は元々印刷物用であり、この文字は印刷物の縦組みを基にして作られているため、モニター上で横組みになると字と字のバランスが大きく崩れてしまう。これをどのように調和させるかが今後の課題でもある。

今回、日本の新聞社4社の記事を中心にブラウザ上で読む文字表示の状況について分析した。2バイトフォント特有の様々な問題だけでなく、ウィンドウズとマッキントッシュのシステムの違い、モニターやブラウザの違いから発生する様々な問題を発見した。行間に対するブラウザ別の解析の違いにより、マッキントッシュよりウィンドウズの方が詰まって見えたところや設定単位に用いたpxは相対値であるためモニター画面によって大きさが異なってしまうところが見えた。

また、読みやすい文字表示に対するデザイナーの不注意も見えた。マッキントッシュ専用のフォントを指定したり、細かく設定していた記事に対する文字設定が反映されないなどである。

記事に対する文字の表示は、すでに決められていたフォーマットに新しい記事だけを書き込む方法で行われると思われ、読みやすくなるような文字表示の標準フォーマットが求められる。